



各位

平成18年10月20日

会社名	株式会社富士通ビジネスシステム
代表者名	代表取締役社長 鈴木 國明
コード番号	8092
問合せ先	常務取締役 会沢 貴志
	TEL (03) 5804 - 8111
当社の親会社名	富士通株式会社
	代表取締役社長 黒川 博昭
コード番号	6702

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年4月27日に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 19年3月期連結中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年4月27日発表)	74,500	400	200
今回修正予想(B)	71,600	610	220
増減額(B-A)	△ 2,900	210	20
増減率	△ 3.9	52.5	10.0
前期(平成17年9月中間期)実績	72,827	548	608

2. 19年3月期個別中間業績予想数値の修正(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成18年4月27日発表)	71,000	400	200
今回修正予想(B)	68,500	640	290
増減額(B-A)	△ 2,500	240	90
増減率	△ 3.5	60.0	45.0
前期(平成17年9月中間期)実績	69,561	458	462

3. 理由

当中間期の業績は、売上高については当初予想を下回りましたが、経常利益及び当期純利益については予想を上回る見込みとなりました。

売上高につきましては、主力のソフトウェアサービスが伸長したものの、情報システムやコンストラクションサービスで一部延伸等があり、予想には達しませんでした。

利益面につきましては、利益率の高いソフトウェアサービスが伸長し、売上総利益率は改善しました。併せて、営業費用につきましても、間接経費の効率化を推進し抑制したこと等により、経常利益及び当期純利益は予想を上回りました。

連結業績につきましては、主として当社の業績修正の要因に伴い修正するものであります。

なお、連結通期業績予想及び個別通期業績予想数値につきましては現時点で修正ありません。

<ご参考>

19年3月期連結通期業績予想及び個別通期業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
19年3月期連結通期	167,000	3,100	1,600
19年3月期個別通期	160,000	3,100	1,600

以上